

明日の集落を担うのは誰か？ ～郡山市湖南町横沢集落の調査を通じて～

仙台耕作放棄地研究会
代表 佐々木達

発表の構成

1. はじめに
2. 湖南町の概要と横沢集落の現状
 - ① 湖南町の概要
 - ② 集落農家調査と課題の発見
3. 「風土のフード会」の実施
 - ① どんな料理があるのかな？
 - ② フードを食べて風土をつくろう
4. おわりに～集落活性化案にかえて～

1. はじめに

本研究会の調査のねらい

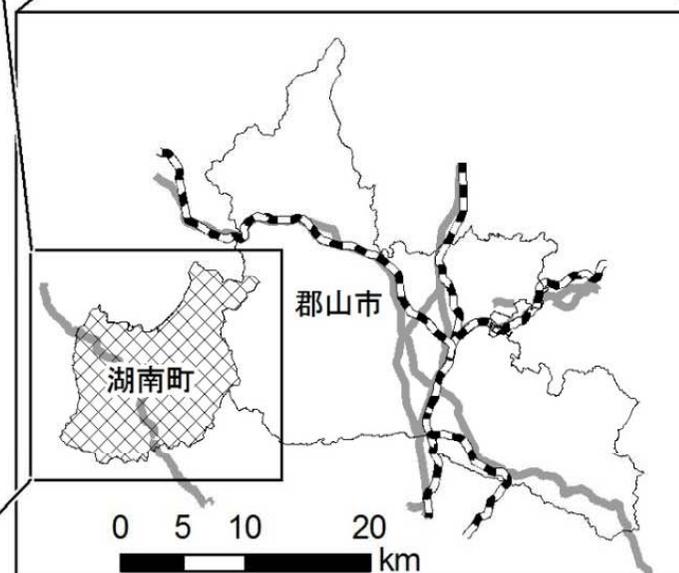
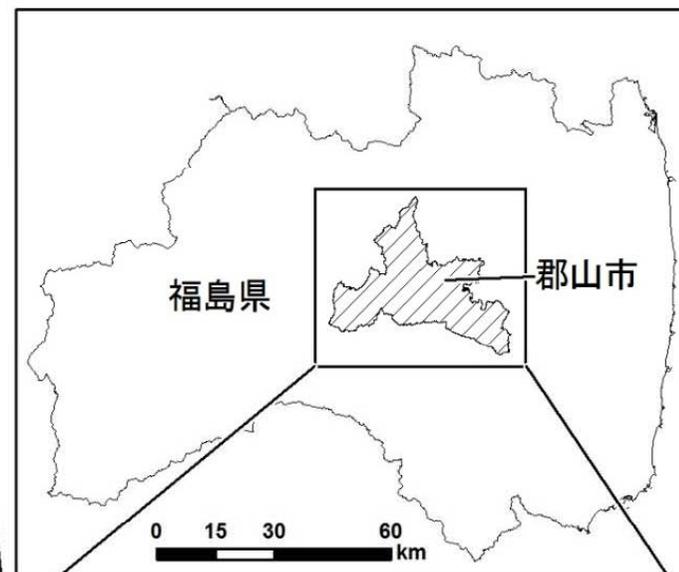
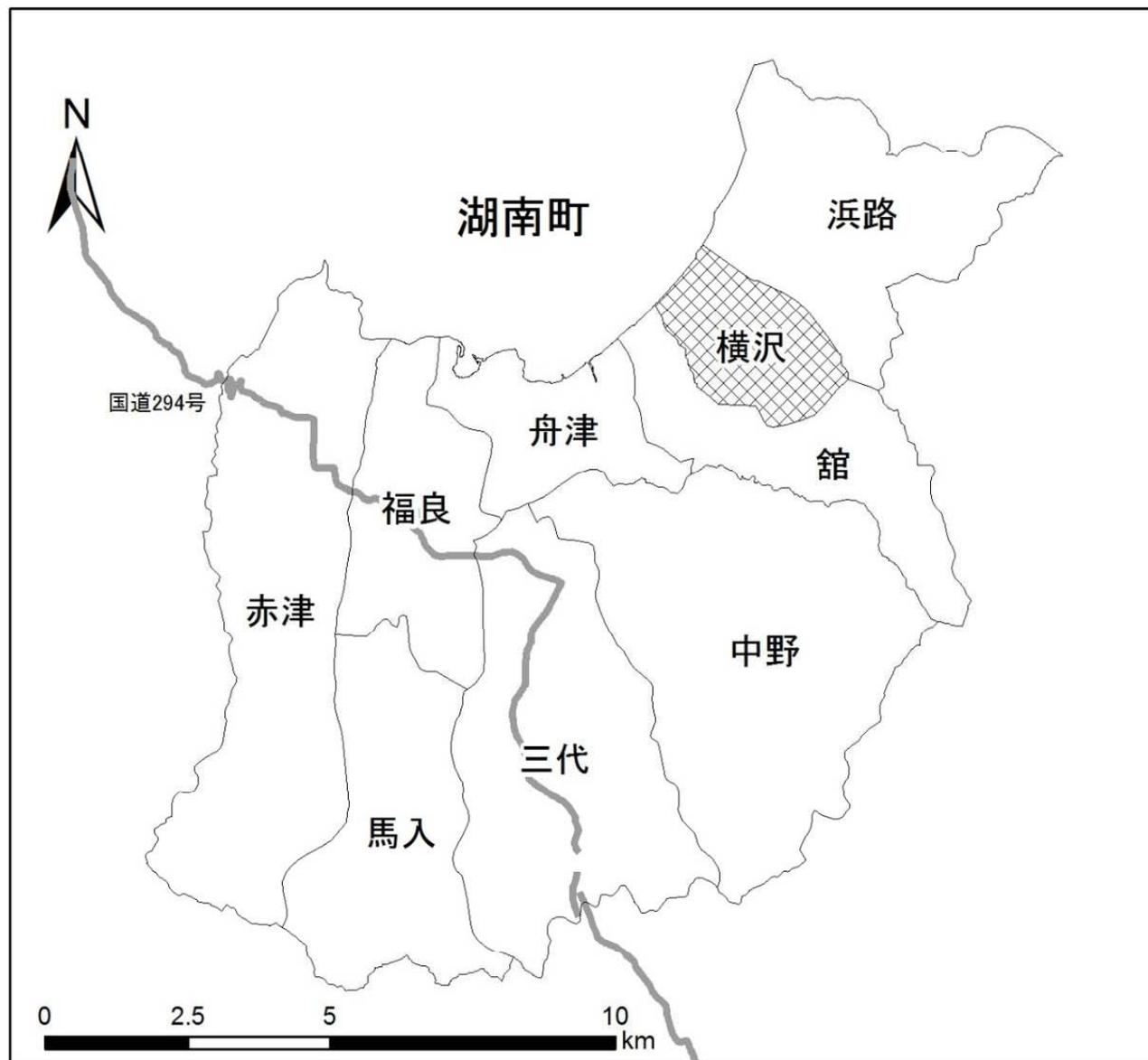
- 本研究会の目的は、耕作放棄地の利活用を念頭に置きながら、少額でもお金を稼ぐことのできる仕組み(いきがい作り)を地域の中に生み出すことである。
- そのために…
 - ①地域にどのような潜在的な力が眠っているのかを知るための集落調査(ひと・もの・場所探し)
 - ②調査結果をたたき台にして住民が集落の将来計画などを語りあうためのきっかけ作り
 - ③学生たちを巻き込んで「風土のフード会」を試みることによって人々が集まる拠点作りの可能性の模索

調査にあたって念頭に置いたこと

- 地域の人々の現実の生活を無視した活性化モデルはなかなか成功を収めることは難しい
- 一部の人々に活動が集中したり，無理なスケジュールで住民が疲れたりなど途中で継続困難になるケースが多い。
- まずは住民構成や地域資源の存賦状況，地域住民の意向を的確に把握したうえで，実践的な方向性を考える必要がある。

2. 湖南町の概要と横沢集落の現状

郡山市湖南町の位置



調査日程

○第1次調査(9月23日～25日)

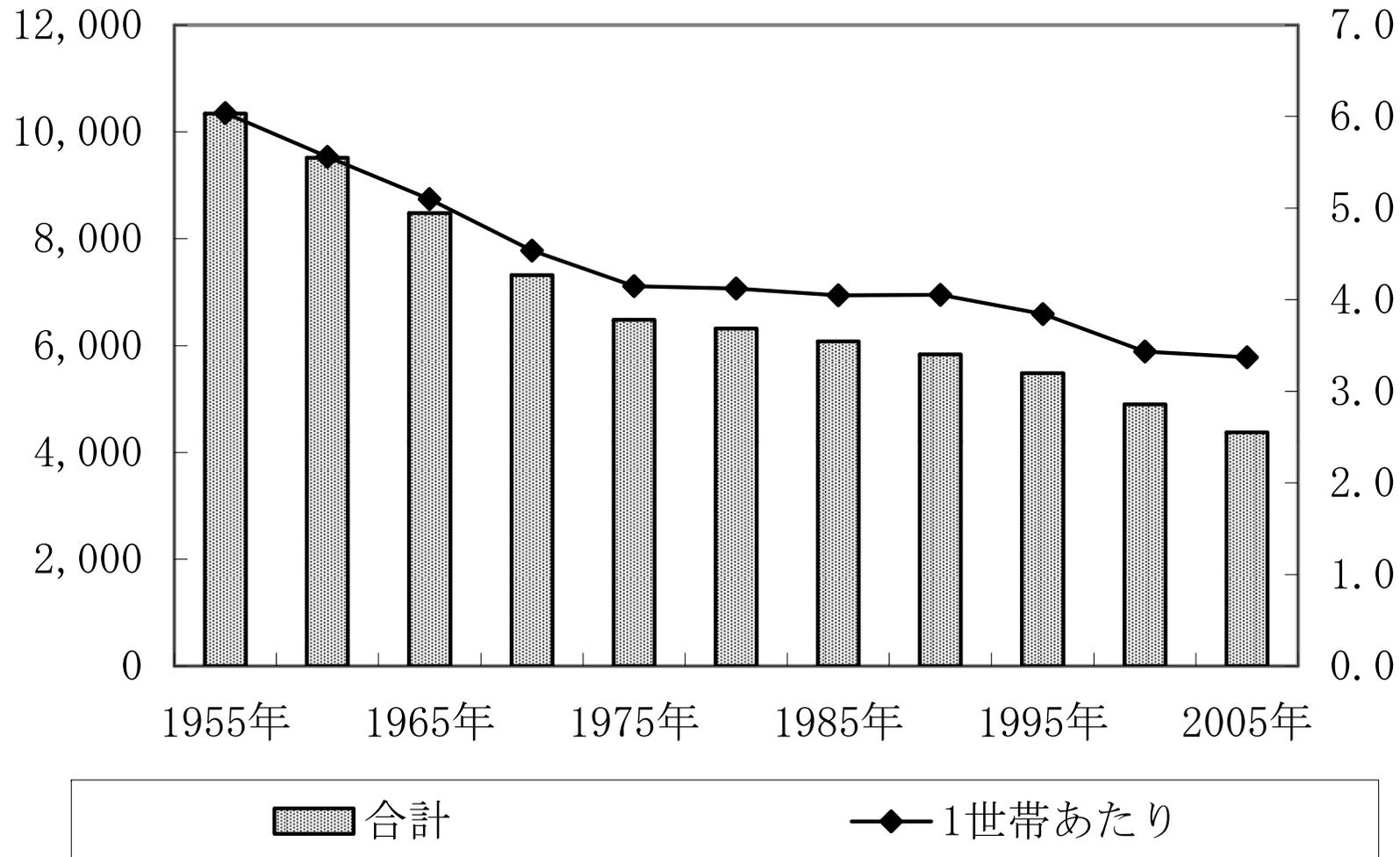
- ・湖南町の景観調査
- ・集落農業調査

○第2次調査(11月13日～14日)

- ・横沢集落の景観調査
- ・風土のフード会(お料理展覧会)

湖南町ってどんなところ？

1) 郡山市湖南町の概要



第2図 郡山市湖南町の人口変化

- ・ 10,000人存在した人口は4300人へ減少
- ・ 1世帯あたりの人口は6人から3.4人へ

2) 産業別就業者の構成

		郡山市		湖南町			
		(2000年)		(2000年)		(2005年)	
総数		165,517		2,496		2,150	
一 次 産 業	小計	8,639	5.2	612	24.5	565	26.3
	農業	8,467	5.1	578	23.2	541	25.2
	林業	126	0.1	33	1.3	24	1.1
	漁業	37	0.0	1	0.0	0	0.0
二 次 産 業	小計	46,175	27.9	987	39.5	729	33.9
	鉱業	94	0.1	2	0.1	0	0.0
	建設業	18,169	11.0	611	24.5	409	19.0
	製造業	27,912	16.9	374	15.0	320	14.9
第三次産業		108,814	65.7	895	35.9	856	39.8

資料：国勢調査

- ・湖南町の産業全体における農業の比重は未だに高い
- ・専業農家69戸(12.9%)，I兼98戸(18.4%)，II兼366戸(68.7%)
- ・農産物販売金額700万円以上農家の割合11.5%



風力発電がある高原の町



稲苗代湖から磐梯山を眺められる町

横沢集落ってどんなところ？



江戸時代に起源を持つ来福時

一軒一軒の敷地が大きく、蔵もある

いもがらと大豆の天日干し



大きな住居でも空き家が発生しつつある



丁寧に管理された野菜畑





増加している耕作放棄地

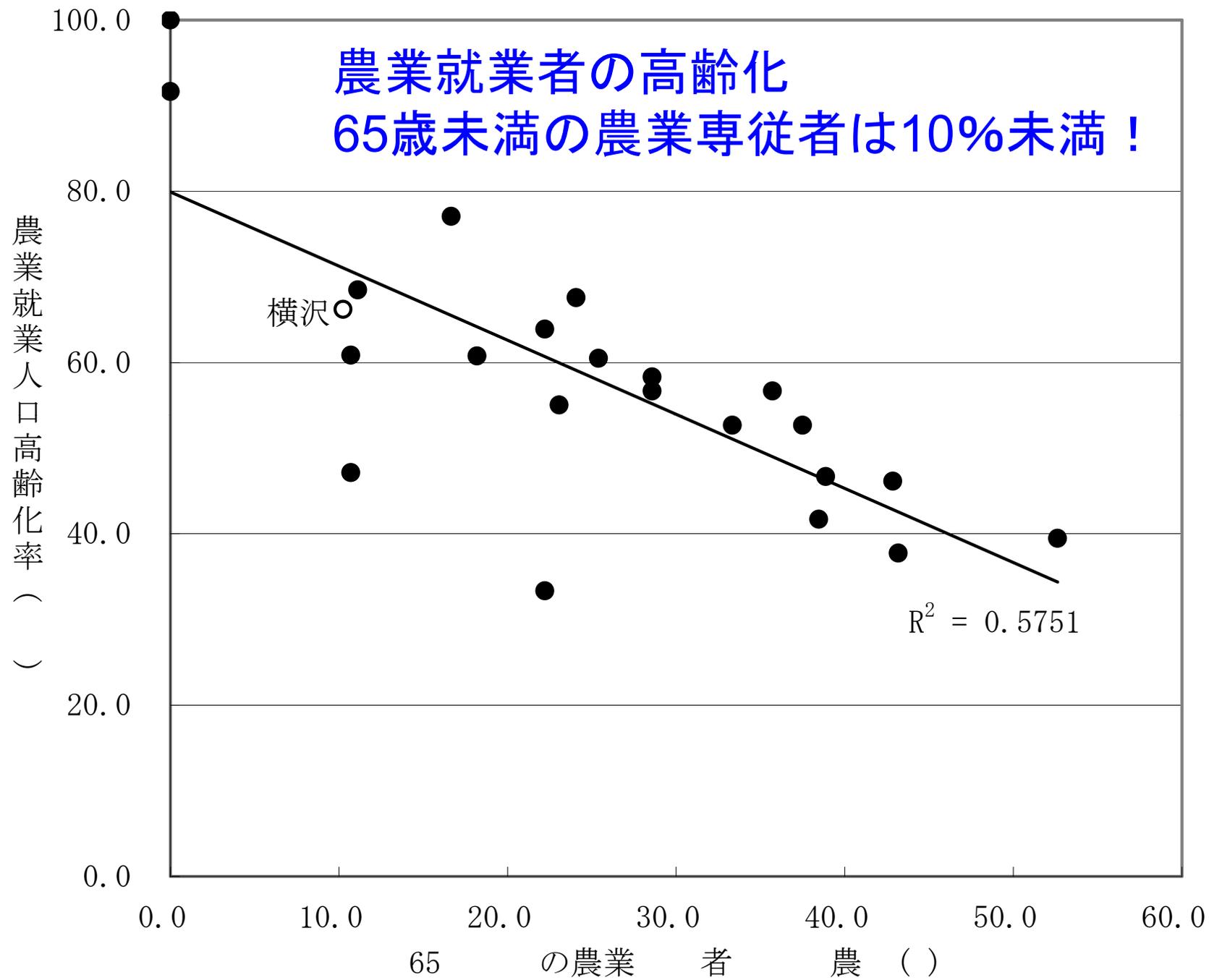


図3 湖南町 別農業 の

集落の住民構成

第3表 湖南町横沢 の農業 者 世帯の

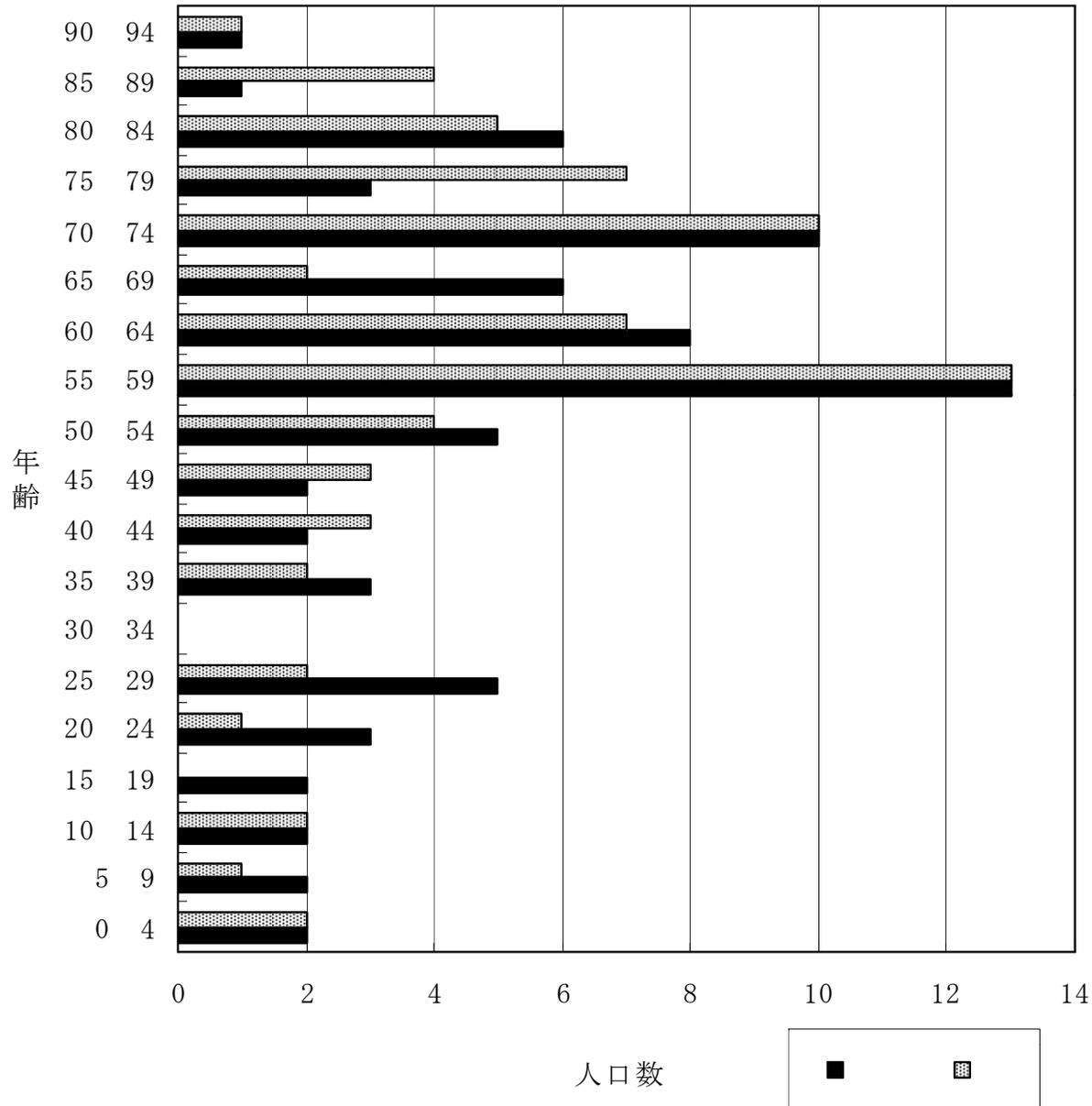
農	()	()					農								業		業				
			20	30	40	50	60	70	80	20	30	40	50	60	70	80	農				
1	1210	1100	50				60										820				
2	1140	580	20		200	360											100				
3	650	250				400											150				
4	650	500	10				料 150										150				
5	580	500			80												200				
6	445	350	5		90												200				
7	385	300	15		70																
8	370	300	10			60		3									100				
9	365	240	5		120													1			
10	350	250			100																
11	320	250	7			70											60				
12	280	200			80																
13	275	200	5		40	30												1			
14	270	220	4		50																
15	260	180			80			20													
16	255	200			30		料 25														
17	253	200	3		30	20															
18	250	180	20		50												70				
19	240	200			40																
20	235	180	5		55																
21	220	160	10			50												2			
22	210	150				60															
23	210	120	30				料 60														
24	205	150			55																
25	190	130			60													10			
26	180	130			35	15												10			
27	180	120			20	40												2			
28	174	70	4		30													1			
29	170	120				50															
30	168	120	8		40																
31	160	120	20		20																
32	150	120			30													10			
33	150	150																			
34	140	110				30												2			
35	120	100			20																
36																					
37																					
38																					
39																		7			
40	32	30	2															180			
41	20	0			20													29			
41	20	0			20													100			

農業従事者の中心は70歳代

潜在的な労働力

ほとんどが兼業従事者

人口ピラミッド



・少子高齢化の典型

・65歳以上の割合

男子27(35.5%)

女子29人(42.0%)

・30～34歳がない！

団塊ジュニア世代であり、
団塊世代はちょうど減反
が始まったとき就農

→農業を継げとは言えな
かった

集落調査から見えた課題

- ① 農業従事者世帯でもほぼ全戸が兼業農家
特に50代と60代前半は集落活性化活動に全面的に関わることは現状では厳しい
- ② 米と転作(大豆, そば)以外に商品化されている作物はほとんど存在しない
- ③ 集落には自家野菜を作る女性がかかり存在
- ④ 現状では60代以上が中心を占めるが, 将来的には現在50代後半が集落維持の担い手になる

→ 現在の高齢者層によって次世代に引き継ぐための集落運営の仕組みづくりと生きがい作りが必要

3. 風土のフード会の実施 (お料理試食会)

なぜ「風土のフード会」か？

- 集落には潜在的な女性の力が眠っている
- 高原野菜(風土)を活かした食の展覧会
- 今後、民泊や農業体験などの交流人口を拡充したいという集落の意向
- そのためにも人々が集まれる場所がほしい

→学生たちやお母さんたちを巻き込んでイベントを実施してきっかけを作ろう！

「風土のフード会」のねらい

- 10年後の集落予想図を考えると楽観視できない
しかし農業生産の影の主人公が存在している
商品化されない野菜作→集落の底力、文字通りの百姓
- 家庭の台所をずっと支えてきたお母さんたちはスゴイ
知恵・技術・加工→これだけは移動できない(風土)
世代継承されないと横沢らしさ・湖南らしさがなくなる
- 集落本来の自治を取り戻すチャンス
今後は人口・財政面でも他への依存は期待できない
不測の事態に備えておこう(現代の吉里吉里人)
- そのためにも女性の力を全面に出して食卓と農業生産を
結び付けるきっかけづくりをしてみよう！

女性パワー本領発揮！





わたしたちや
まだまだ現役よ！

そうよ！
そうよ！

これが隠れていた集落の底力！



総勢26品目！

ただいま「横沢家庭料理レシピ集」を作成中

1. 茎わかめとはやと瓜の漬物
2. いかニンジン
3. 什(じゅう)
4. いとこね
5. スペイン風ポテトサラダ
6. 十年あえ
7. 白魚の味噌揚げ
8. 山海漬け
9. 味おこわ
10. インゲンの佃煮
11. 竹の子の油炒め
12. 大根と鯖の煮付け
13. かぼちゃの煮付け
14. 大根の甘酢漬け
15. 白菜の漬物
16. セロリとニンジンの和え物
17. おから炒り
18. 白菜と豚肉の蒸し鍋
19. じゃがいもの煮っ転がし
20. おにぎり
21. 豆腐
22. たくあん
23. 豆味噌
24. ぜんまいの煮しめ
25. なずなのおひたし
26. 手打ちそば

○食材の自給率 (調味料を除く)

30品目(地場産)÷43品目(地場産+外部調達)=69.7%

みんなで楽しく・おいしくいただきました！



活性化(生きがい作り)の第一歩が始まった！

- 11月12日に「**湖南野菜づくりの会**」が発足
- 女性たちが主体となった野菜づくり(男性はサポート)
- テーマは「仲良く・楽しく・前向きに！(未来を見つめて)」
- 生産される野菜はその名も「**湖南FRIEND(フレンド)高原野菜**」

F rank	ざっくばらんに
R elax	力を抜いて
I ndependence	自立を目指して
E njoy	楽しみながら
N eighborhood	近所の人と
D elight	喜びを分かち合おう

- 横沢集落には自分たちで議論し、行動しようとする結束力と潜在的な力が確実に存在している！

最後に・・・活性化案にかえて

- これらかは発想の転換が必要なのでは？

①高齢化バンザイ！

自分たちが楽しむことを一番に
まずはできそうなところから

②集落の中にゆるやかなネットワークを
個人同士のつながりでできることがある
井戸端会議の延長戦・・・がんばらない

③「田舎」の日常は都市の非日常

自分の地域に誇りを持って

④地域のリーダーとサポート体制



ご静聴ありがとうございました